

参考資料

1 検討委員等名簿

(1) 墨田区環境審議会

区分	所属等	氏名	備考	
学識 経験者	早稲田大学社会科学総合学術院教授 (農学博士)	赤尾 健一	会長	
	多摩ニュータウン環境組合リサイクル センター長	江尻 京子		
	東京大学総合研究博物館研究事業 協力者	須田 真一		
	神楽坂キーストーン法律事務所弁護士	日置 雅晴	副会長	
	国立感染症研究所昆虫医科学部 客員研究員(薬学博士)	森林 敦子		
区議会 議員	墨田区議会地域産業都市委員会 委員長	沖山 仁	～令和2年5月27日	
		じんの 博義	令和2年5月27日～ 令和3年5月27日	
		福田 はるみ	令和3年5月27日～	
	墨田区議会地域産業都市委員会 副委員長	とも 宣子	～令和2年5月27日	
		坂井 ユカコ	令和2年5月27日～ 令和3年5月27日	
		藤崎 こうき	令和3年5月27日～	
事業者	東京都鍍金工業組合向島支部長	岩井 孝之	～令和元年5月13日	
	東京都鍍金工業組合向島支部長 (株式会社梅本鍍金代表取締役)	梅本 禎司		
	(株)浜野製作所代表取締役	浜野 慶一	～令和2年3月31日	
	金星ゴム工業株式会社 代表取締役 会長	杉本 浩志	令和2年11月9日～	
	東京電力パワーグリッド株式会社 江東支社長	榎本 毅	～令和2年9月30日	
		平岩 直哉	令和2年10月1日～ 令和3年9月30日	
		中島 宏幸	令和3年10月1日～	
	東京ガス株式会社	東部支店長	中塚 千恵	～令和2年3月末
		東京東支店長	岡野 俊哉	令和2年4月～
	ライオン株式会社	CSV推進部 環境戦略室長	原田 房枝	～令和2年3月末
サステナビリティ 推進部長		小和田 みどり	令和2年4月1日～	
区民	すみだ環境共創区民会議会長	宇田川 明		
	公募区民	橋本 治		
	文化人	林家 時蔵		

(2) すみだ環境共創区民会議

選出区分	所属等	氏名	備考	
環境保全活動に実績のある区民及び事業者	会社員	宇田川 明	会長	
	会社員	森下 香洋子	副会長	
	東京電力パワーグリッド株式会社 江東支社		安田 奈穂美	～令和2年10月23日
			石川 香	令和2年10月23日～
	東京ガス株式会社	東部支店	吉田 智子	～令和2年3月31日
		東京東支店	小西 吾乗	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日
浅見 伸介			令和3年4月1日～	
環境団体の構成員	なでしこ	橋本 玲子		
	緑と花のサポーター	門倉 美雪		
	雨水市民の会	佐原 滋元		
	すみだ景観フォーラム	笠貫 昇		
	エコライフサポーター	阿久沢 八代	～令和2年9月25日	
		橋本 恵子	令和2年9月25日～	
公募による区民及び区長が必要と認める者	公募区民	小木曾 清三		
	公募区民	佐野 まさ子		
	公募区民	土屋 爲由	副会長	
	公募区民	碓氷 喜信		
	公募区民	小林 茂美	令和元年9月17日～	
	公募区民	木股 里穂	令和3年4月1日～	

(3) 第二次緑の基本計画策定庁内検討委員会

構成員
都市整備部 環境担当部長(委員長)
都市整備部 環境担当 環境保全課長(副委員長)
企画経営室 政策担当課長
企画経営室 ファシリティマネジメント担当課長
地域力支援部 地域活動推進課長
産業観光部 観光課長
福祉保健部 厚生課長
子ども・子育て支援部 子育て支援課長
都市計画部 都市計画課長
都市計画部 防災まちづくり課長
都市計画部 危機管理担当 防災課長
都市整備部 都市整備課長
都市整備部 土木管理課長
都市整備部 道路公園課長
都市整備部 立体化推進担当 立体化推進課長
都市整備部 立体化推進担当 拠点整備課長
教育委員会事務局 庶務課長

(4) その他御協力いただいた学識経験者等

所属等	氏名
千葉大学大学院 教授 (園芸学研究科環境造園デザイン学研究室)	池邊 このみ
東京大学総合研究博物館研究事業協力者	須田 真一
樹木医・緑化相談員	多田 亨
東京環境工科専門学校 教員	外山 史也
グリーンアドバイザー・緑化相談員	中道 光子
東京環境工科専門学校 学科長教務主任	吉尾 政信

2 審議・検討経過

(1) 墨田区環境審議会

日時	議事
令和元年5月28日	・墨田区緑と生物の現況調査報告 ・計画策定のスケジュール ・策定庁内検討委員の設置について
令和元年11月25日	・骨子について ・緑と生物に関する区民アンケート結果報告
令和2年11月9日	・計画策定に向けた方針の考え方 ・施策体系について
令和3年6月28日 ※書面開催	・諮問 ・素案について
令和3年10月15日 ※書面開催	・素案について
令和4年1月28日 ※書面開催	・パブリックコメント報告 ・答申

(2) すみだ環境共創区民会議

日時	議事
令和元年5月24日	・墨田区緑と生物の現況調査報告 ・計画策定のスケジュール ・策定庁内検討委員の設置について
令和元年10月25日	・骨子について
令和3年1月22日 ※書面開催	・計画策定に向けた方針の考え方 ・施策体系について
令和3年5月28日 ※書面開催	・素案について
令和3年10月22日	・素案について
令和3年12月24日	・素案について
令和4年1月28日 ※書面開催	・パブリックコメント報告
令和4年2月4日 ※書面開催	・答申報告

(3) 第二次墨田区緑の基本計画策定庁内検討委員会

日時	議事
令和元年7月29日	・計画策定の背景及び位置づけについて ・墨田区の緑と生物の現状及び現行計画の施策と目標値について
令和元年8月28日	・計画策定の考え方について ・現行計画の各施策進捗状況評価及び課題について
令和元年10月18日	・骨子について
令和2年1月22日	・骨子について ・緑と生物に関する区民アンケート及びヒアリング結果について
令和2年10月30日 ※書面開催	・施策体系について
令和3年4月20日 ※書面開催	・素案について
令和3年10月19日 ※書面開催	・素案について
令和4年2月3日 ※書面開催	・パブリックコメント報告 ・答申報告

(4) パブリックコメントの実施

1) 意見募集期間

- ・令和3年12月7日から令和4年1月4日まで

2) 意見募集の周知・公表方法

① パブリックコメントの周知

- ・区のお知らせ（12月11日号）
- ・区ホームページ

② 公表資料の閲覧場所

- ・環境保全課（区役所12階）
- ・区民情報コーナー

3) 意見募集の結果

- ・意見者数 1名（意見数9件）

3 区民の意識

(1) 実施日及び回答者数

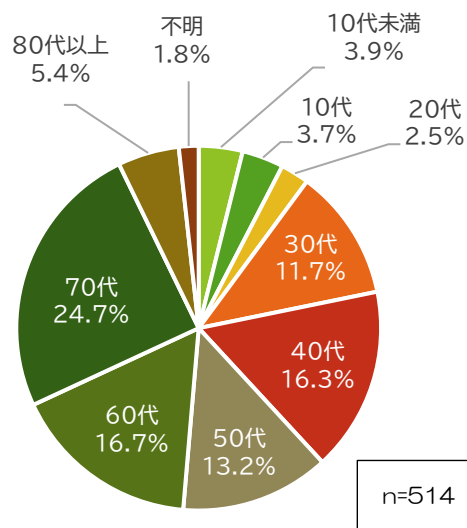
環境関連イベントの来場者を対象として、緑と生物に関するアンケートを行いました。

実施日	実施イベント名	回答者数
令和元年5月11日	みどりの日	55人
令和元年6月29・30日	環境フェア	267人
令和元年10月5・6日	すみだまつり	93人
令和元年11月2日	菊まつり	10人
令和元年12月7日	梅若小学校 星空観察会	28人
令和元年12月9日	エコライフ講座 第3回 「ごみの最終処分場を見に行こう！ -中央防波堤埋立処分場見学-」	14人
令和元年12月12日	水の循環講座 第4回 都市と水 「東京低地の暗渠を見てみよう」	16人
令和元年12月16日～ 令和2年1月16日	インターネットアンケート	20人
令和元年12月19日	水の循環講座 第5回 防災と水 「東京を災害から守る施設を見てみよう」	11人
回答者数合計		514人

(2) アンケート結果

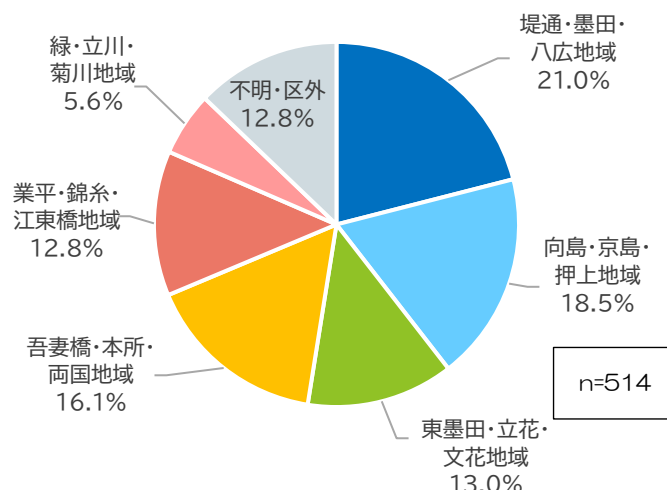
①対象者の年齢について

問1 あなたの年齢を教えてください。



②回答者の居住地域属性について

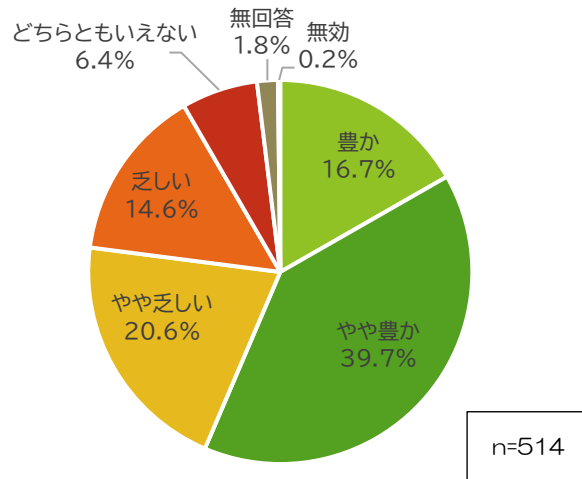
問2 あなたのお住まいの町名と丁番をご記入ください。
(記入いただいた住所をもとに、地域別に分類)



③墨田区の緑の豊かさについて

墨田区の緑が「豊か」と回答した方は約2割でしたが、「やや豊か」と回答した人と合わせると5割以上になります。

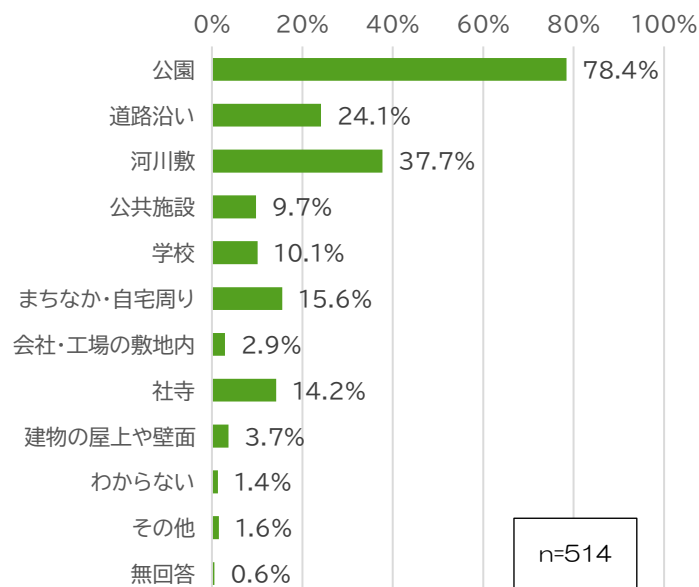
問3 あなたは、墨田区の緑は豊かだと思いますか。



④区内で緑を感じる場所について

区内で緑を感じる場所として、「公園」と回答した方が約8割と圧倒的に多い結果になりました。

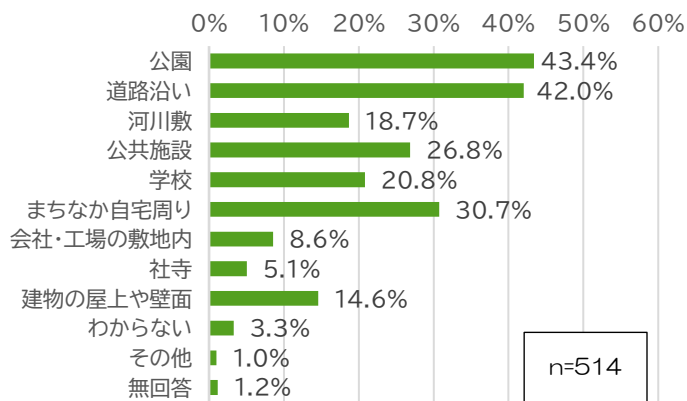
問4 あなたは、区内のどこで緑を感じますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



⑤ 緑を増やすべき場所について

約4割の方が「公園」「道路沿い」と回答していますが、「公共施設」「学校」「まちなか・自宅周り」に緑を増やしたほうがよいと考える人も2割以上います。

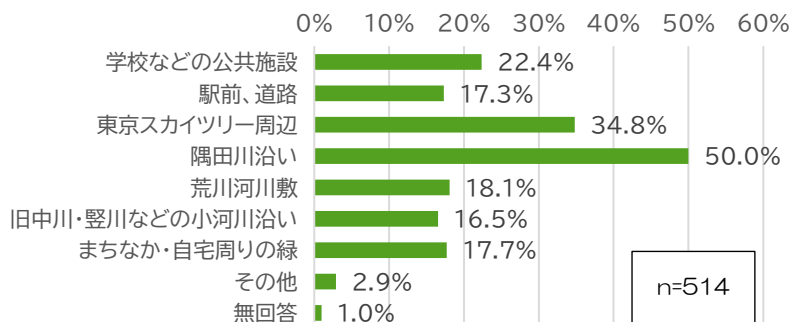
問5 あなたは、区内のどこに緑を増やしたほうがよいと思いますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。



⑥ 墨田らしい緑とは

昔からある「隅田川沿い」の緑を墨田らしい緑と考える人がいる一方、平成24(2012)年に建設された「東京スカイツリー」という、墨田区の新しいシンボルの緑を墨田らしいと考える人も多くいます。

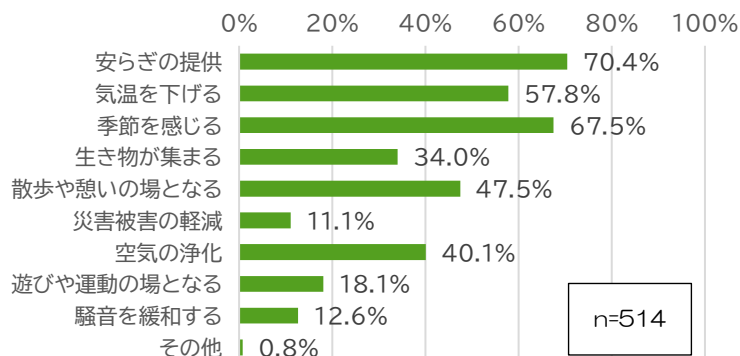
問6 あなたの思う「墨田らしい緑」とは、どこにある緑だと思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



⑦ 緑の効果

緑の効果として「やすらぎを感じる」と回答した方が一番多く、その次は「季節を感じる」でした。このような心理的な効果をあげる方が多い一方で、「気温を下げる」といった、環境改善効果をあげる方も5割以上いました。

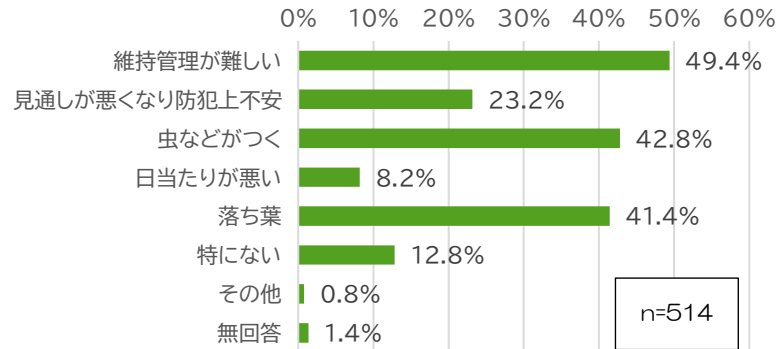
問7 あなたは、緑があるとどのような効果があると思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



⑧緑が増えることで発生する問題について

緑が増えることで発生する問題について、「維持管理が難しい」と考えている方が5割近くと一番多く、その次に「虫などがつく」「落ち葉」と回答した方が多いという結果になりました。

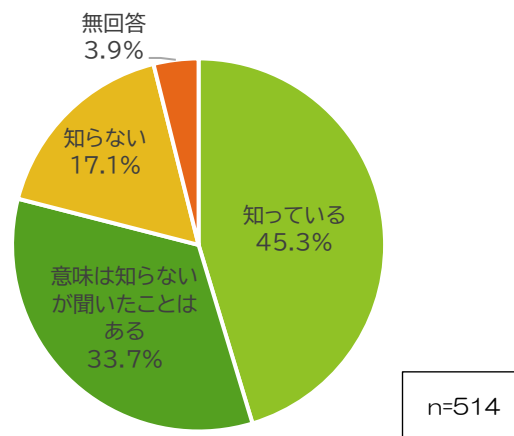
問8 あなたは、緑が増えることでどのような問題があると思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



⑨生物多様性の認知度

「生物多様性」という言葉について、「意味は知らないが聞いたことはある」「知らない」を合わせると、意味を知らないという方が5割以上と、「知っている」と答えた方を上回っています。

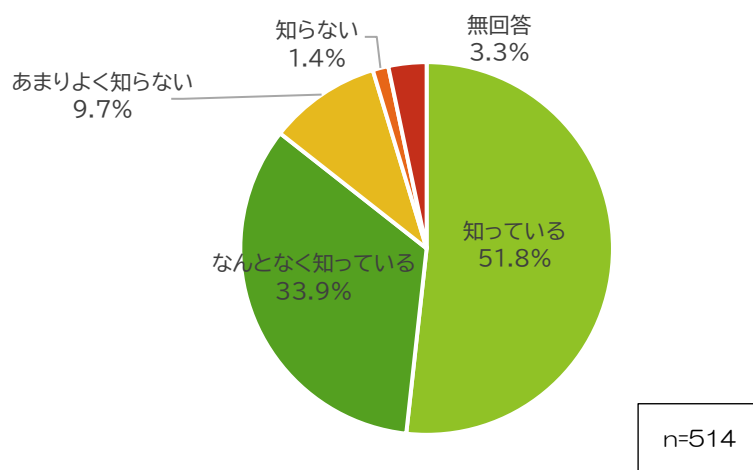
問9 あなたは生物多様性という言葉を知っていますか。次の中から一つ選んで当てはまるものに○をつけてください。



⑩外来種の問題についての認知度

外来種の問題について、5割の方が「知っている」、3割の方も「なんとなく知っている」と回答しています。

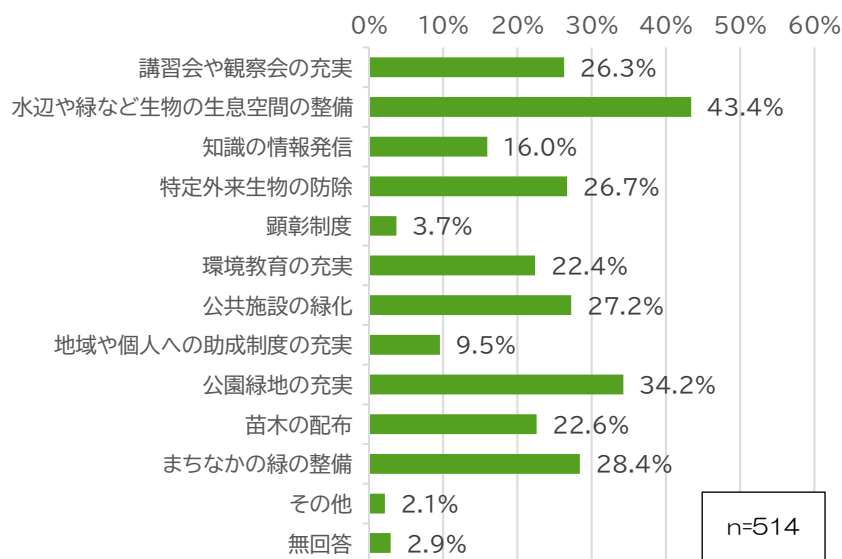
問10 あなたは、外来種の問題について知っていますか。次の中から一つ選んで当てはまるものに○をつけてください。



⑪緑や生物の保全のために区に期待すること

区に期待することとして、生物のためには「水辺や緑など生物の生息空間の整備」、緑のためには「公園緑地の充実」と回答した方が多い結果となりました。その他に多かったこととして、「講習会や観察会の充実」「特定外来生物の防除」「公共施設の緑化」「まちなかの緑の整備」があげられました。

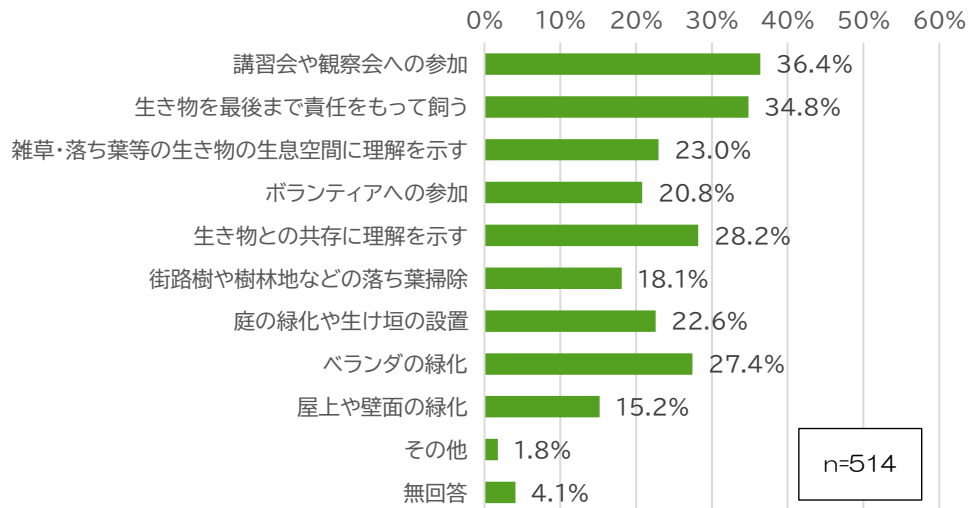
問11 緑や生物の保全のために、あなたが区に期待することは何ですか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



⑫ 緑や生物の保全について、自分でできること及びやりたいこと

自分でできることなどとして、「講習会や観察会への参加」と回答した方が一番多く、その次が「生きものを最後まで責任をもって飼う」となりました。しかし、「生きものとの共存に理解を示す」「庭の緑化や生け垣の設置」「ベランダの緑化」と回答した方も一定数います。

問 12 緑や生物の保全活動で、あなたができること及びやりたいと思っていることは何ですか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。

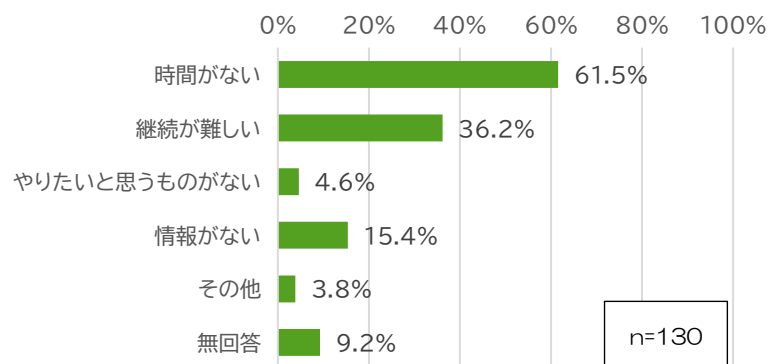
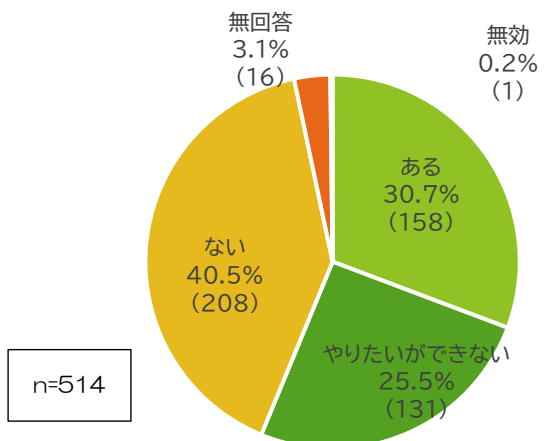


⑬ 地域の緑化や保全活動への参加経験について

保全活動への参加経験について、「ない」と回答した方が「ある」と回答した方を上回る結果となりました。また、「やりたいができない」と回答した方の多くは「時間がないため」参加できないと回答しています。

問 13 あなたは、地域の緑や生物の活動（緑化講習会や自然観察会、ボランティア活動など）に参加したことはありますか。次の中から一つ選んで当てはまるものに○をつけてください。

問 14 問 13 で「やりたいができない」と回答した方に質問です。それはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

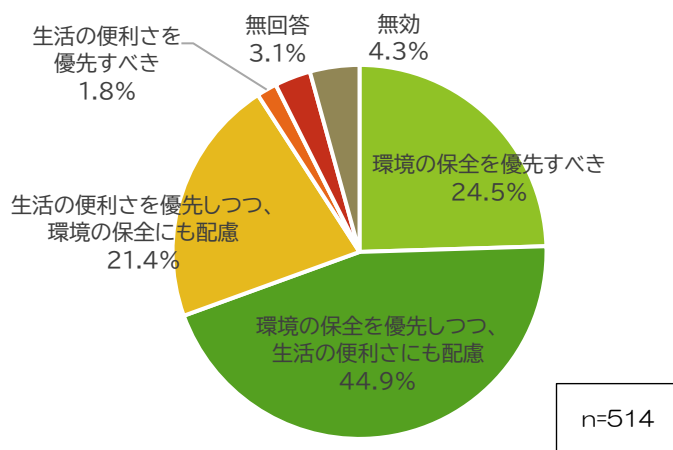


※ () 内の数字は回答者数

⑭環境の保全と生活の便利さの優先度について

「環境の保全を優先すべき」「環境の保全を優先しつつも、生活の便利さにも配慮」と、回答した方が合わせて約7割という結果になりました。

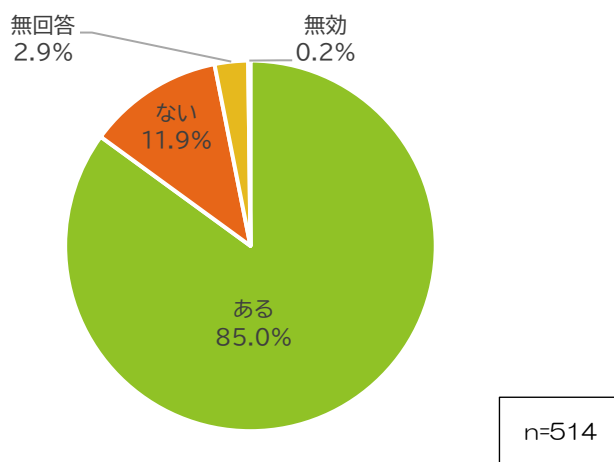
問 15 環境の保全と生活の便利さの優先度について、あなたは、どのように考えますか。一つ選んで当てはまるものに○をつけてください。



⑮自然の恵みを感じることはあるか。

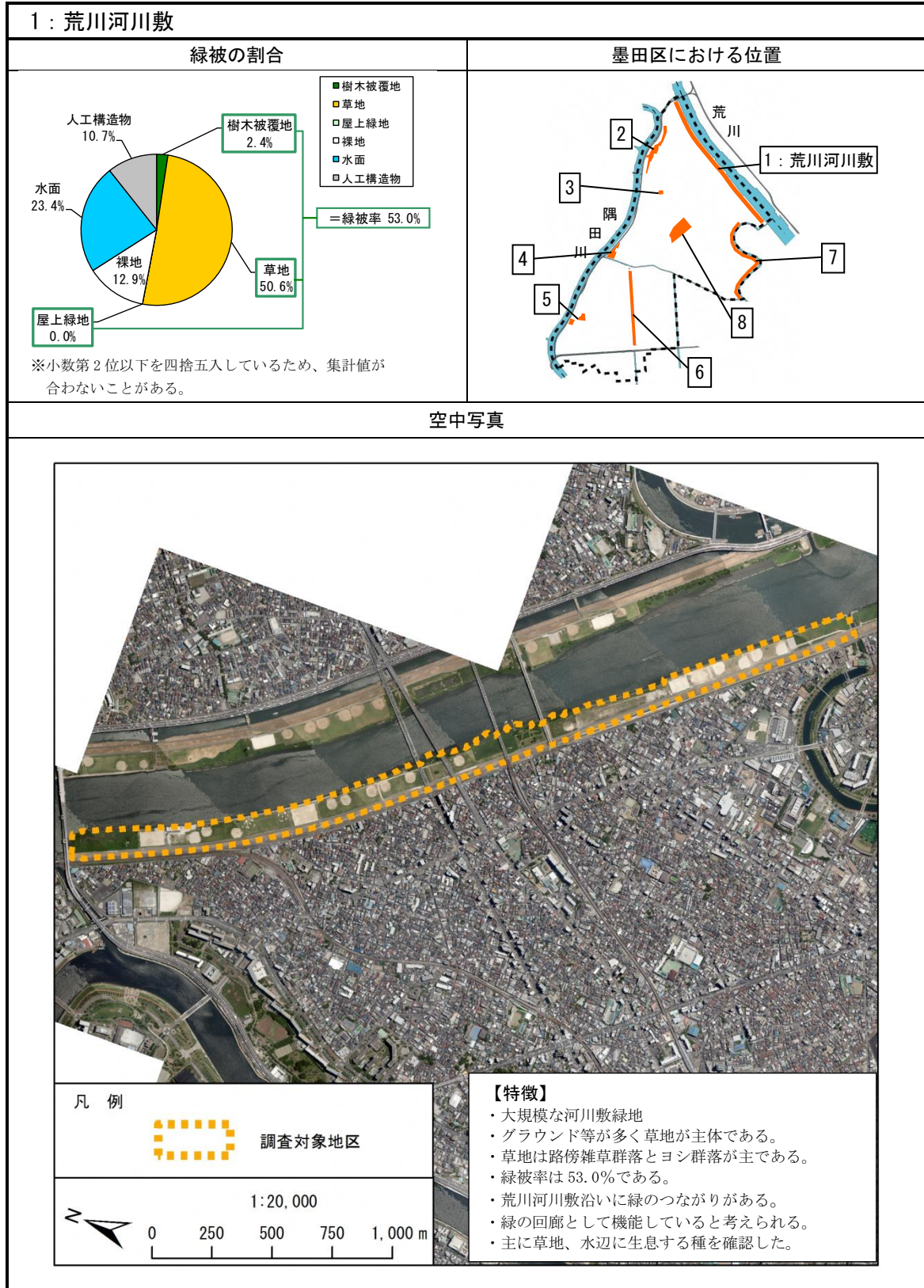
自然の恵みを感じるものが「ある」と回答した方が、8割を超えています。

問 16 日々の暮らしの中で、自然の恵みを受けて暮らしていると感じることはありますか。次の中から一つ選んで当てはまるものに○をつけてください。



4 墨田区の生物カルテ

平成30年度に実施した、「墨田区緑と生物の現況調査」の調査結果を、調査対象地区毎のカルテに整理しました。

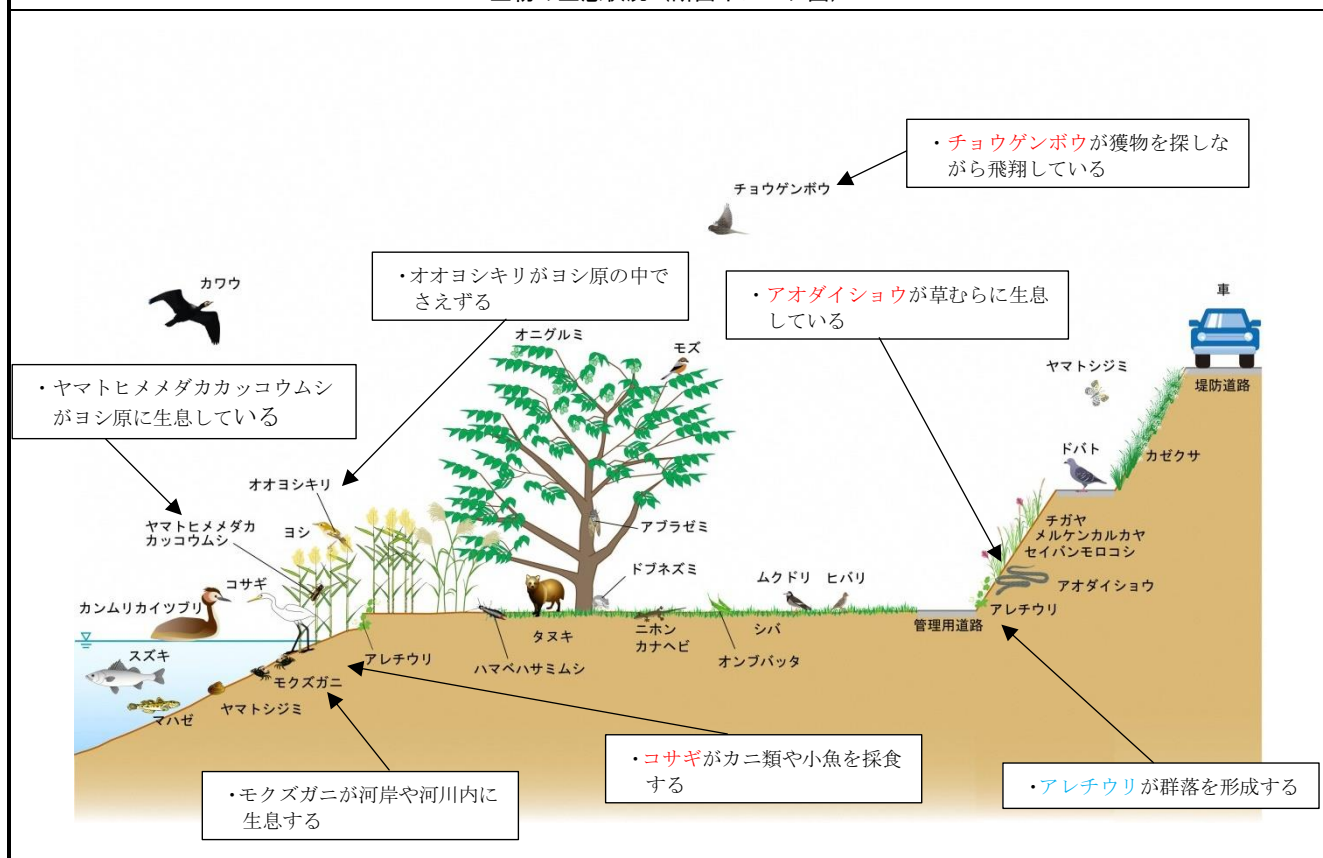


注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

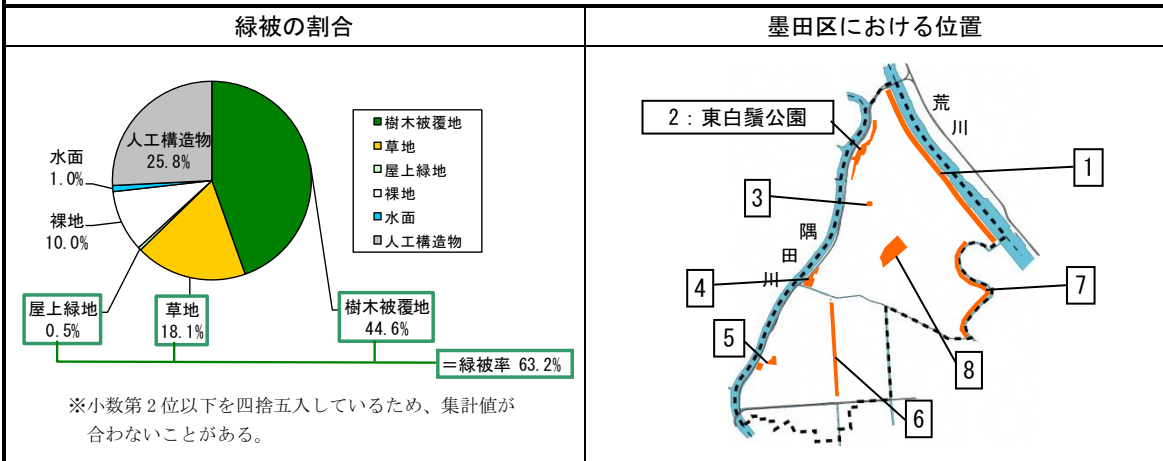
注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

生物の確認状況（主な確認種）			
植物	212種	昆虫類・クモ類	259種
鳥類			42種
【高木層～亜高木層】 オニグルミ、ヤマグワ、 ネズミモチ、アカメガシワ	【樹木】 アブラゼミ、ヤナギルリハムシ	留鳥	夏鳥
【低木層】 ノイバラ、アズマネザサ、オオムラサキ、シモツケ	【草地】 モンシロチョウ、セイヨウミツバチ、ナナホシテントウ、オンブバッタ、イチモンジセセリ、 ヒロバネカンタン	冬鳥	旅鳥
【草本層】 オギ、セイタカアワダチソウ、 ネズミムギ、チガヤ、シバ、 ナルコスゲ、メリケンガヤツリ、 ニガカシュウ 、 アレチウリ	【地表】 ハマベハサミムシ、ツチイナゴ	オオサギ	アカエリヒレアシシギ
【草本層(抽水)】 ヨシ	【ヨシ原】 ヤマトヒメメダカカッコウムシ	オオヨシキリ	ユリカモメ、ツグミ
魚類	13種	水生生物	31種
遊泳魚	底生魚	貝類：ヨシダカワザンショウガイ、 ヤマトシジミ 、 カワヒバリガイ	甲殻類：テナガエビ、クロベンケイガニ、 モクズガニ、タカノケフサイソガニ
マゴチ、スズキ、サッパ、コノシロ、メナダ、ボラ	カダヤシ 、マハゼ、アシシロハゼ、アベハゼ、シモフリシマハゼ	環形動物他：ヤマトカワゴカイ、イトメ	水生昆虫：確認なし
両生類・爬虫類・哺乳類			5種
両生類：確認なし			
爬虫類： アオダイショウ 、 ニホンカナヘビ			
哺乳類：ドブネズミ、タヌキ、 アライグマ			

生物の生息状況（断面イメージ図）



2：東白鬚公園



空中写真

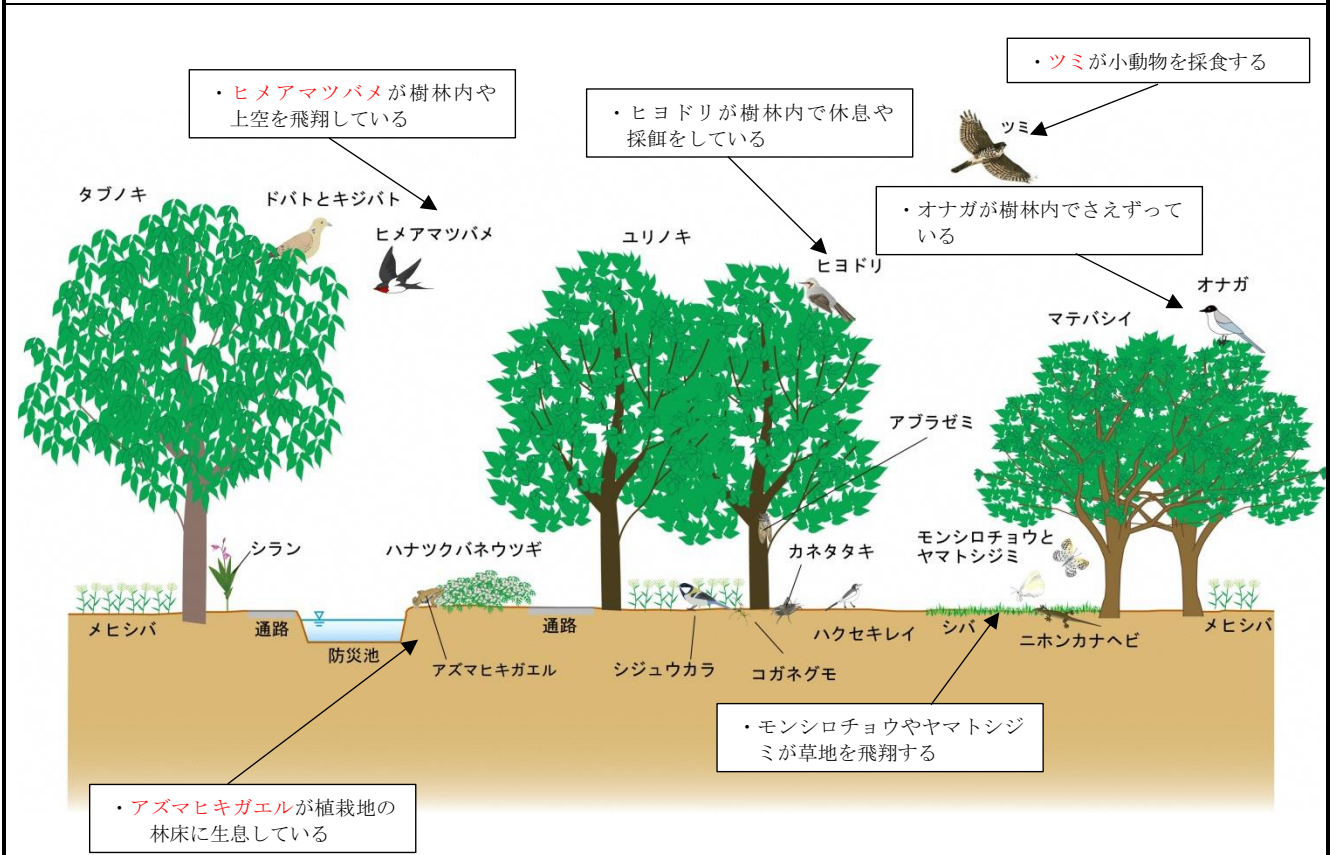


注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

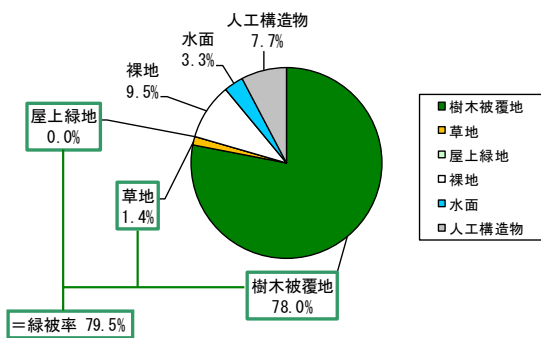
生物の確認状況（主な確認種）			
植物	374種	昆虫類・クモ類	213種
【高木層～亜高木層】 マロニエ、ユリノキ、シラカシ、タブノキ、マテバシイ 【低木層】 ハナツクバネウツギ、フサフジウツギ 【草本層】 シバ、メヒシバ、アキノエノコログサ、コスズメガヤ、 シラン 、ハナシュクシャ、タチアオイ		【樹木】 アブラゼミ、カネタタキ、キイロツブノミハムシ、ジョロウグモ 【草地】 モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ナミテントウ、ヒレルクチブトゾウムシ、ハラビロカマキリ、コガネグモ 【地表】 トビイロケアリ、クロヤマアリ	
		鳥類	18種
		留鳥	夏鳥
		冬鳥	
		両生類・爬虫類・哺乳類	3種
		両生類： アズマヒキガエル	
		爬虫類： ニホンヤモリ 、 ニホンカナヘビ	
		哺乳類：確認なし	
魚類	種	水生生物	種
遊泳魚	底生魚		
※水域は存在するが、防災貯水池であるため調査を実施していない			

生物の生息状況（断面イメージ図）



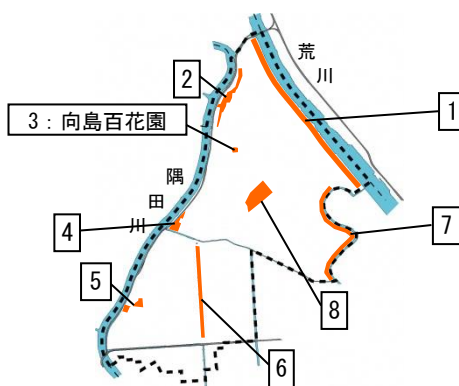
3：向島百花園

緑被の割合

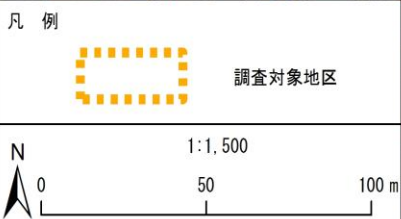


※小数第2位以下を四捨五入しているため、集計値が合わないことがある。

墨田区における位置



空中写真

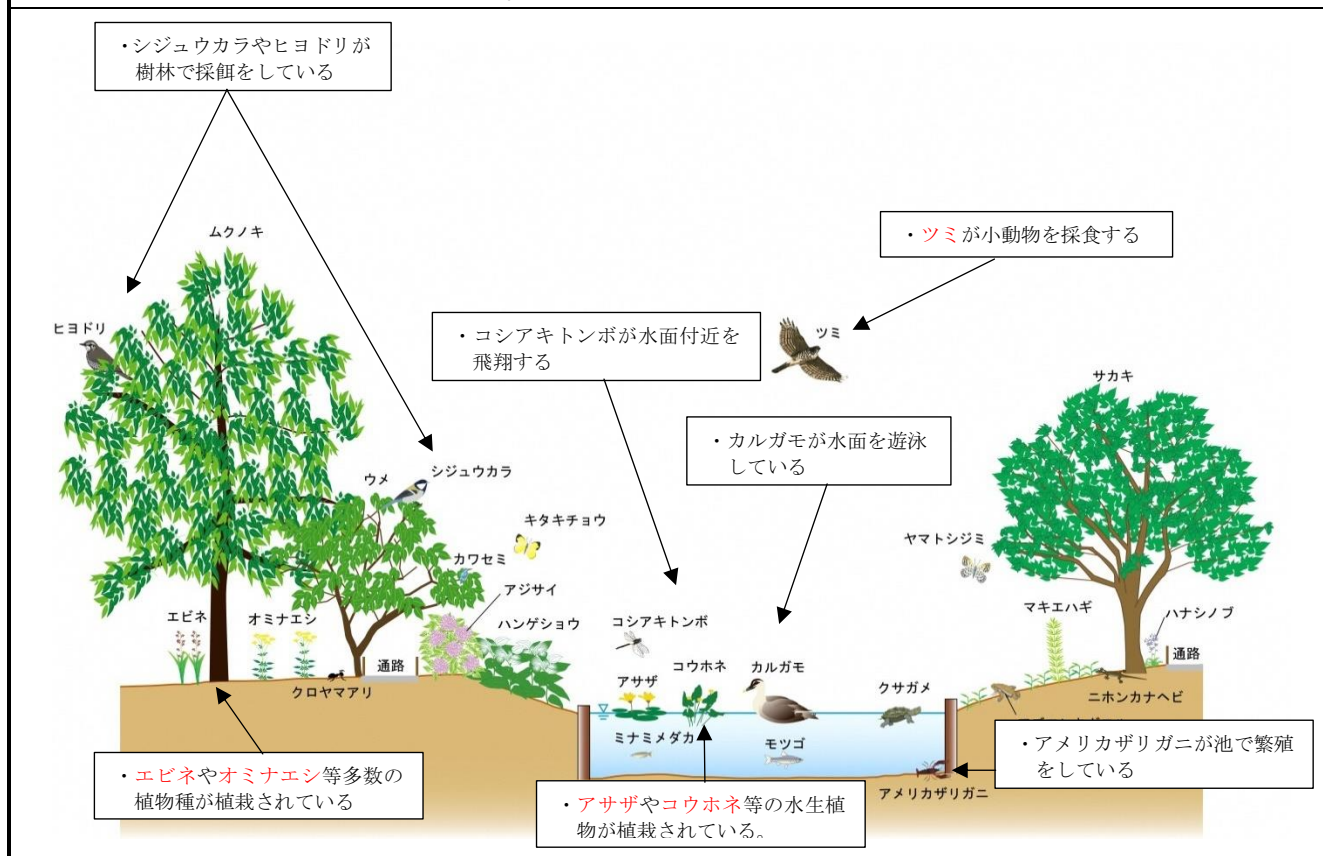


- 【特徴】**
- ・人の手で自然が回復した名所
 - ・池を有し、アジサイやコウホネ等、季節毎に様々な植物が植栽されている。
 - ・水際植生や藪状の低木林等、様々な環境で構成されている。
 - ・緑被率は79.5%である。
 - ・住宅地に囲まれており、緑の島となっている。
 - ・主に樹林や草地、水辺に生息する種を確認した。

注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。
 注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

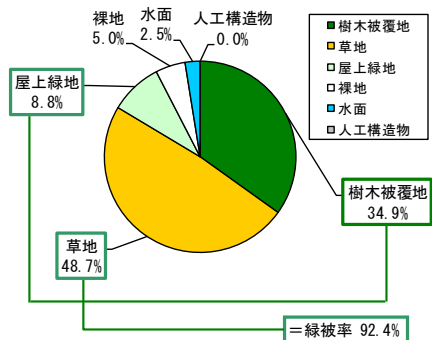
生物の確認状況（主な確認種）			
植物	505種	昆虫類・クモ類	207種
鳥類			16種
留鳥	夏鳥	冬鳥	
スズメ ヒヨドリ シジュウカラ カワセミ ツミ	ツバメ キビタキ	ツグミ	
両生類・爬虫類・哺乳類			5種
両生類：アズマヒキガエル			
爬虫類：クサガメ、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ			
哺乳類：タヌキ			
魚類	2種	水生生物	31種
遊泳魚	底生魚	貝類：サカマキガイ、ヒロマキミズマイマイ、カワコザラガイ 環形動物他：エラミミズ、テングミズミミズ	甲殻類：ミズムシ、アメリカザリガニ 水生昆虫：マツモムシ、アメンボ、コチビミズムシ、ミズナンミズムシ
モツゴ ミナミメダカ	確認なし		

生物の生息状況（断面イメージ図）



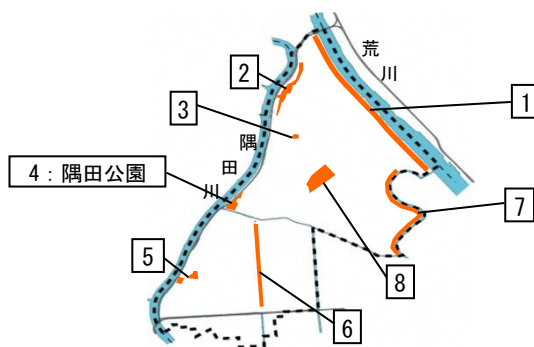
4：隅田公園

緑被の割合



※小数第2位以下を四捨五入しているため、集計値が合わないことがある。

墨田区における位置



空中写真

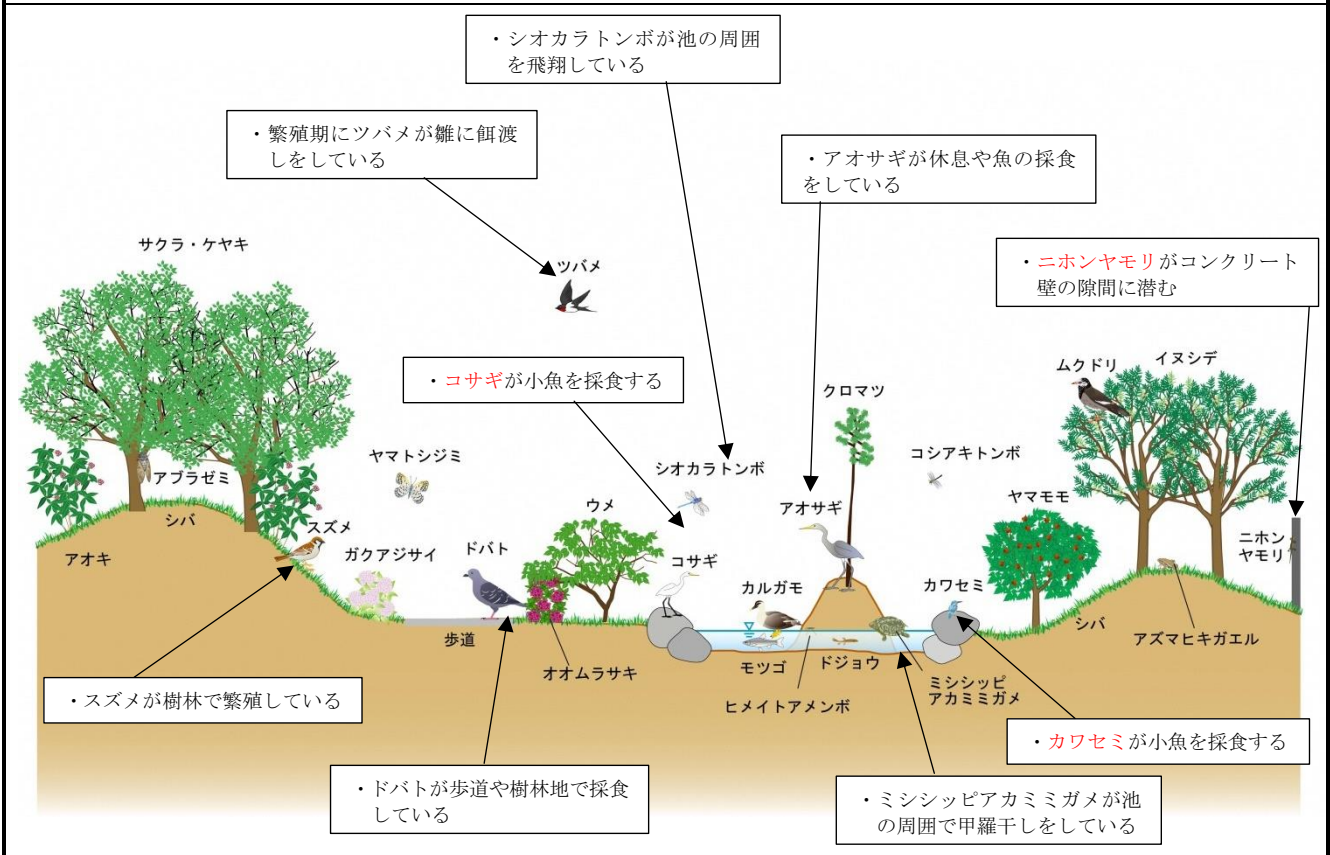


注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

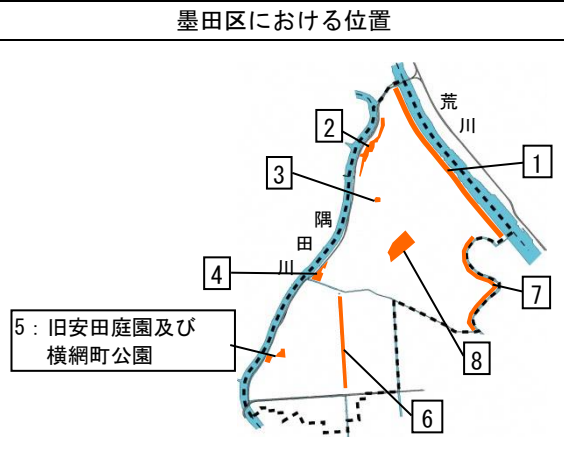
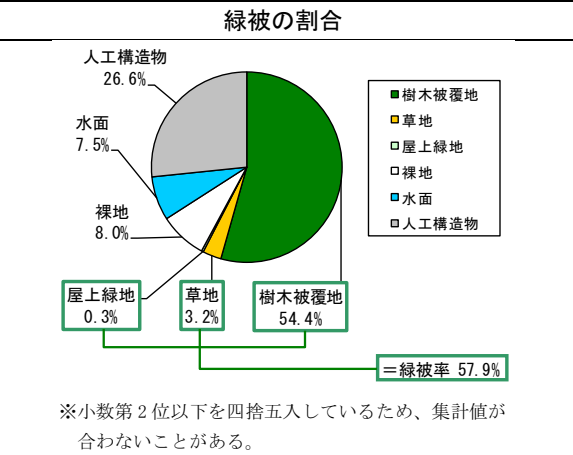
注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

生物の確認状況（主な確認種）					
植物	279種	昆虫類・クモ類	182種	鳥類	21種
【高木層～亜高木層】 イヌシデ、クスノキ、ケヤキ、ヤマグワ、ヤマモモ 【低木層】 アオキ、オオムラサキ、ガクアジサイ、ヒイラギナンテン 【草本層】 イヌワラビ、ドクダミ、ハマスゲ、ウラボシチコグサ、ヒゴロモソウ	【樹木】 アブラゼミ、ツツジゲンバイ 【草地】 モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ナミテントウ、 【地表】 ジグモ 【水辺】 アオモンイトトンボ、オオヤマトンボ、クロイトトンボ	留鳥 アオサギ コサギ ドバト スズメ ムクドリ カワセミ		夏鳥 ツバメ	冬鳥 ユリカモメ ツグミ
		両生類・爬虫類・哺乳類 両生類：アズマヒキガエル 爬虫類：クサガメ、ニホンヤモリ、ミシシippアカミミガメ 哺乳類：確認なし		4種	
魚類	6種	水生生物	22種		
遊泳魚 コイ モツゴ、タモロコ カダヤシ	底生魚 ドジョウ 旧トウヨシノボリ類	貝類：サカマキガイ、ヒラマキミズマイマイ 環形動物他：エラミミズ、ヨゴレミズミミズ	甲殻類：スジエビ、アメリカザリガニ 水生昆虫：アメンボ、ハネナシアメンボ、ヒメイトアメンボ		

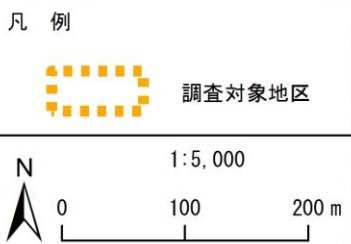
生物の生息状況（断面イメージ図）



5：旧安田庭園及び横網町公園



空中写真

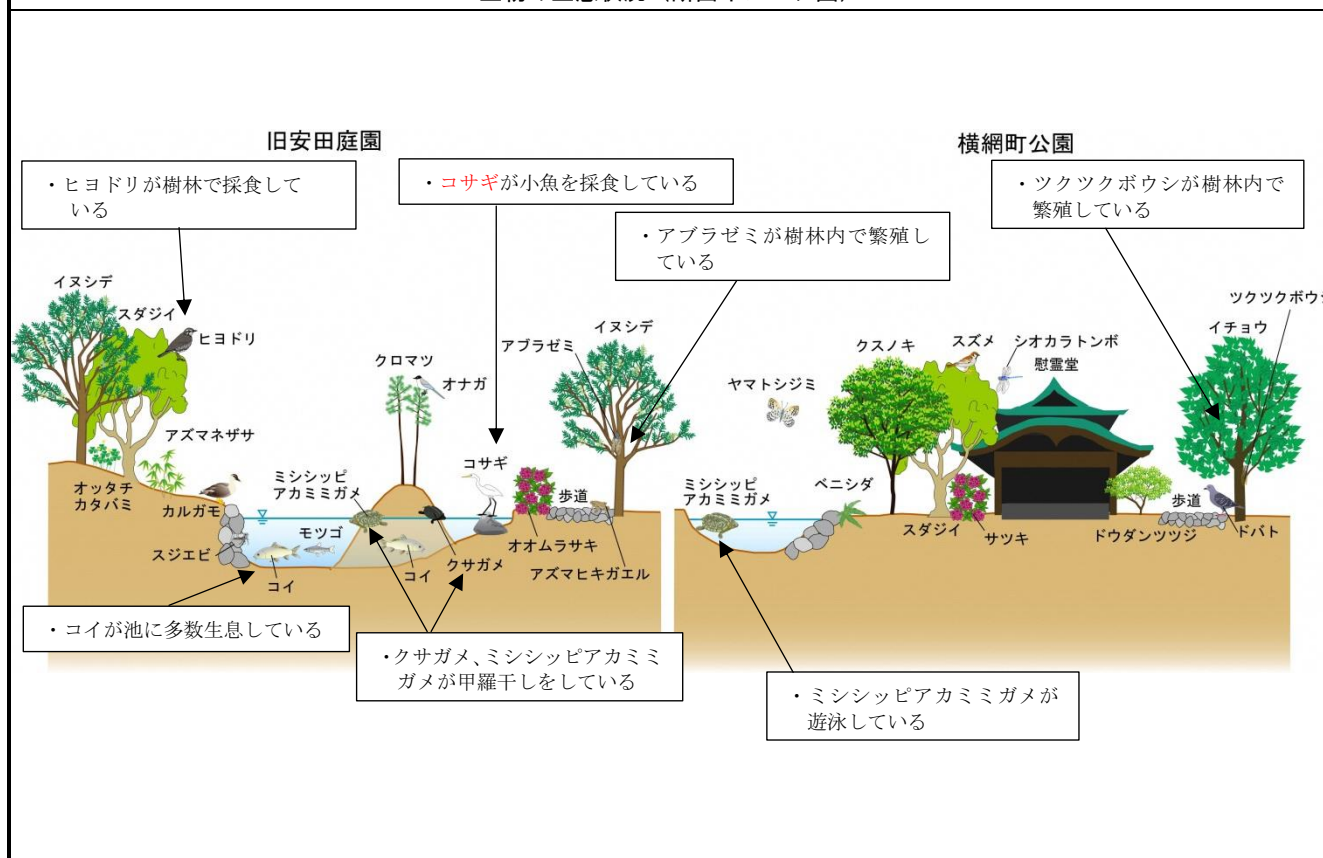


- 【特徴】
- ・池を有する中規模公園
 - ・旧安田庭園は池とその周囲の樹林、横網町公園は人工構造物とその周囲の樹林が主体となっている。
 - ・緑被率は57.9%である。
 - ・住宅地やビル等の建물에 囲まれ緑の島となっている。
 - ・周辺は駅や市街地となっており、緑のつながりはほとんどない。
 - ・主に樹林や水辺に生息する種を確認した。

注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。
 注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

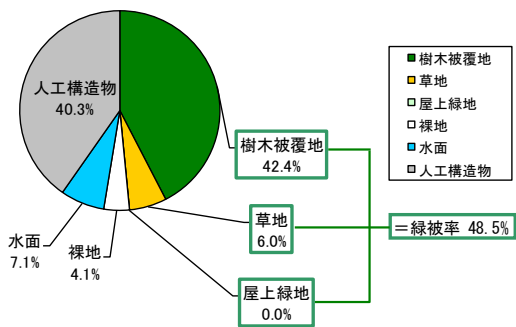
生物の確認状況（主な確認種）			
植物	278種	昆虫類・クモ類	144種
【高木層～亜高木層】 クスノキ、クロマツ、イチョウ、スダジイ、サルスベリ 【低木層】 サツキ、オオムラサキ、ドウダンツツジ、ヤマブキ 【草本層】 オッタチカタバミ、ヒメジョオン、ベニシダ、メヒシバ	【樹木】 エノキノミゾウムシ、カネタタキ、サンゴジュハムシ、ツクツクボウシ、ヘリグロテントウノミハムシ 【草地】 モンシロチョウ、イチモンジセセリ、ヤマトシジミ、ヒゲナガカメムシ 【地表】 アミメアリ	鳥類 12種	
		留鳥 オナガ カルガモ ドバト スズメ ヒヨドリ コサギ	夏鳥 確認なし
		両生類・爬虫類・哺乳類 4種 両生類：アズマヒキガエル 爬虫類：クサガメ、ニホンヤモリ、ミシシippアカミミガメ 哺乳類：確認なし	
魚類	4種	水生生物	13種
游泳魚 モツゴ、 ミナミメダカ	底生魚 コイ 旧トウヨシノボリ類	貝類：ヒメタニシ、サカマキガイ、カワコザラガイ 環形動物他：エラミミズ	甲殻類：スジエビ 水生昆虫：アメンボ、トガリアメンボ

生物の生息状況（断面イメージ図）



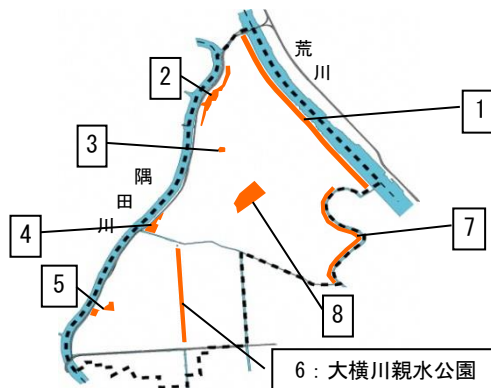
6：大横川親水公園

緑被の割合



※小数第2位以下を四捨五入しているため、集計値が合わないことがある。

墨田区における位置



空中写真



凡例



調査対象地区



1:12,000
0 250 500 m

【特徴】

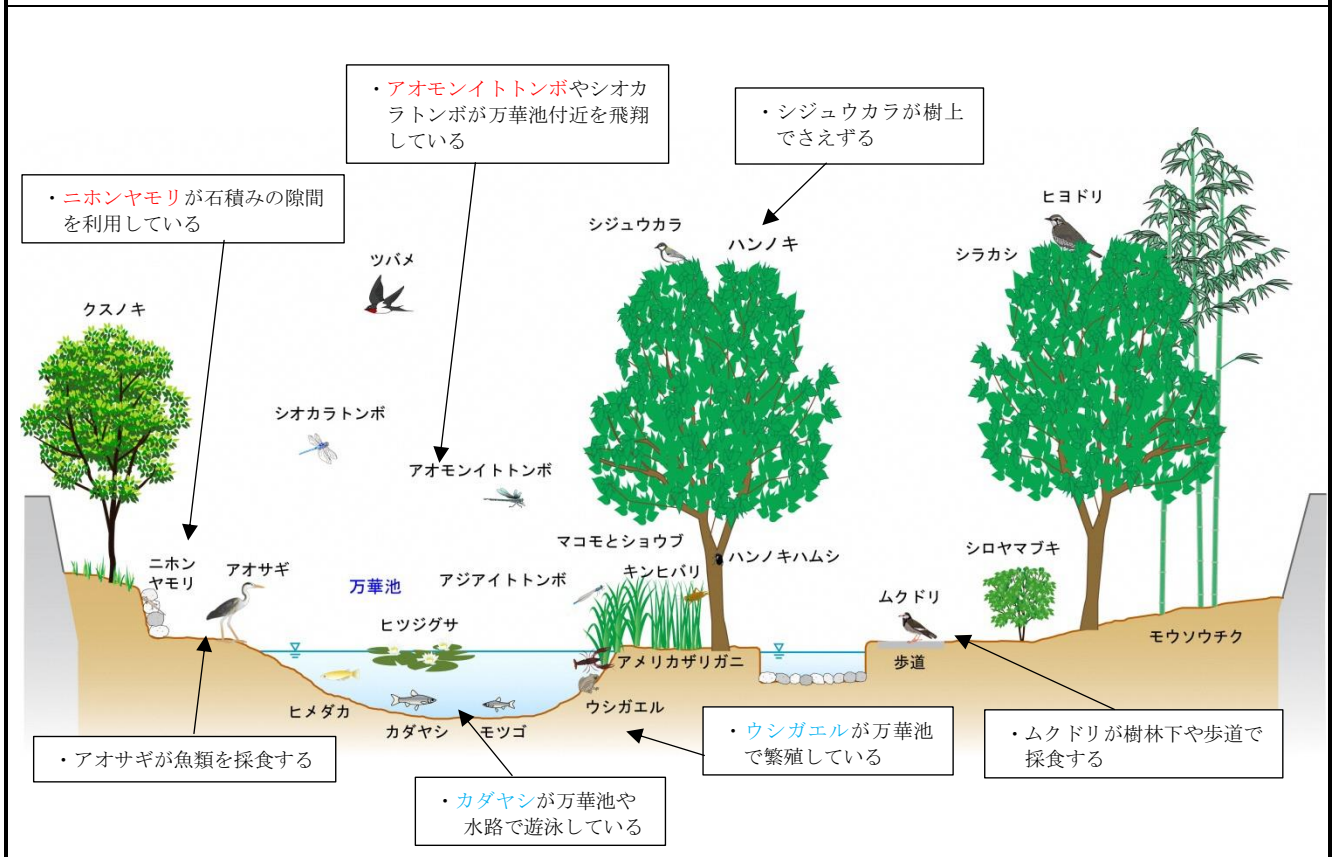
- ・池を有する中規模公園
- ・旧安田庭園は池とその周囲の樹林、横網町公園は人工構造物とその周囲の樹林が主体となっている。
- ・緑被率は57.9%である。
- ・住宅地やビル等の建물에 囲まれ緑の島となっている。
- ・周辺は駅や市街地となっており、緑のつながりはほとんどない。
- ・主に樹林や水辺に生息する種を確認した。

注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

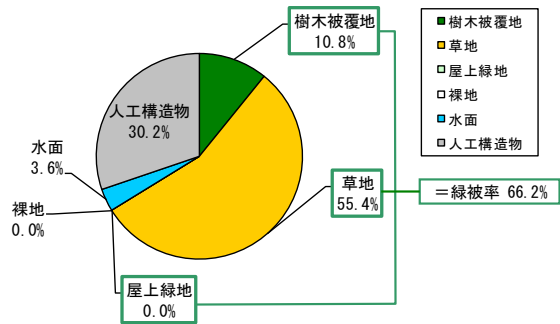
生物の確認状況（主な確認種）					
植物	362種	昆虫類・クモ類	170種		
【高木層～亜高木層】 シラカシ、モミジバフウ、ハンノキ、サルスベリ、カワヤナギ 【低木層】 キンシバイ、ニシキギ 【草本層】 エノコログサ、オオバコ、ヒメジョオン、メヒシバ 【水生植物】 フトイ、ヒメガマ、ミズカンナ、ヒツジグサ、ホテイアオイ、ミズヒマワリ	【樹木】 ハンノキハムシ 【草地】 モンシロチョウ、イチモンジセセリ、ヤマトシジミ、トゲヒシバツタ、ハグロハバチ 【地表】 ヒゲジロハサミムシ 【水辺】 アジアイトトンボ、キンヒバリ、シオカラトンボ	鳥類 22種			
		留鳥 コサギ カルガモ ドバト スズメ トビ		夏鳥 オオルリ ツバメ	冬鳥 ツグミ
		両生類・爬虫類・哺乳類 3種 両生類：アズマヒキガエル、ウシガエル 爬虫類：ニホンヤモリ 哺乳類：確認なし			
魚類	8種	水生生物	14種		
遊泳魚 コイ、モツゴ、ギンブナ、カダヤシ	底生魚 旧トウヨシノボリ類	貝類：ハブタエモノアラガイ、サカマキガイ、 環形動物他：ミズミズ科	甲殻類：ミズムシ、スジエビ、アメリカザリガニ 水生昆虫：アメンボ、ハネナシアメンボ		

生物の生息状況（断面イメージ図）



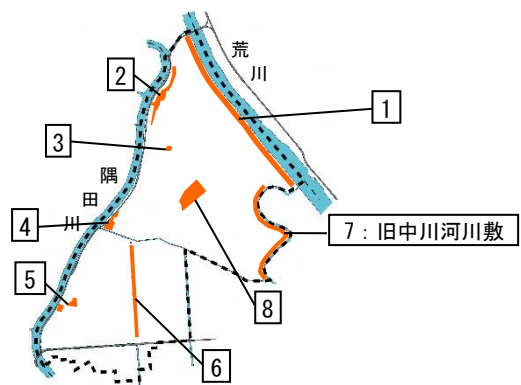
7：旧中川河川敷

緑被の割合



※小数第2位以下を四捨五入しているため、集計値が合わないことがある。

墨田区における位置



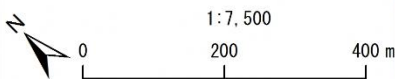
空中写真



【特徴】

- ・水辺が主体で、水際には植栽されたヨシ群落が生育する。
- ・緑被率は66.2%である。
- ・まとまった緑が存在する荒川河川敷と隣接している。
- ・河川敷が緑の回廊として機能している可能性がある。
- ・主に草地や水辺に生息する種を確認した。

凡例

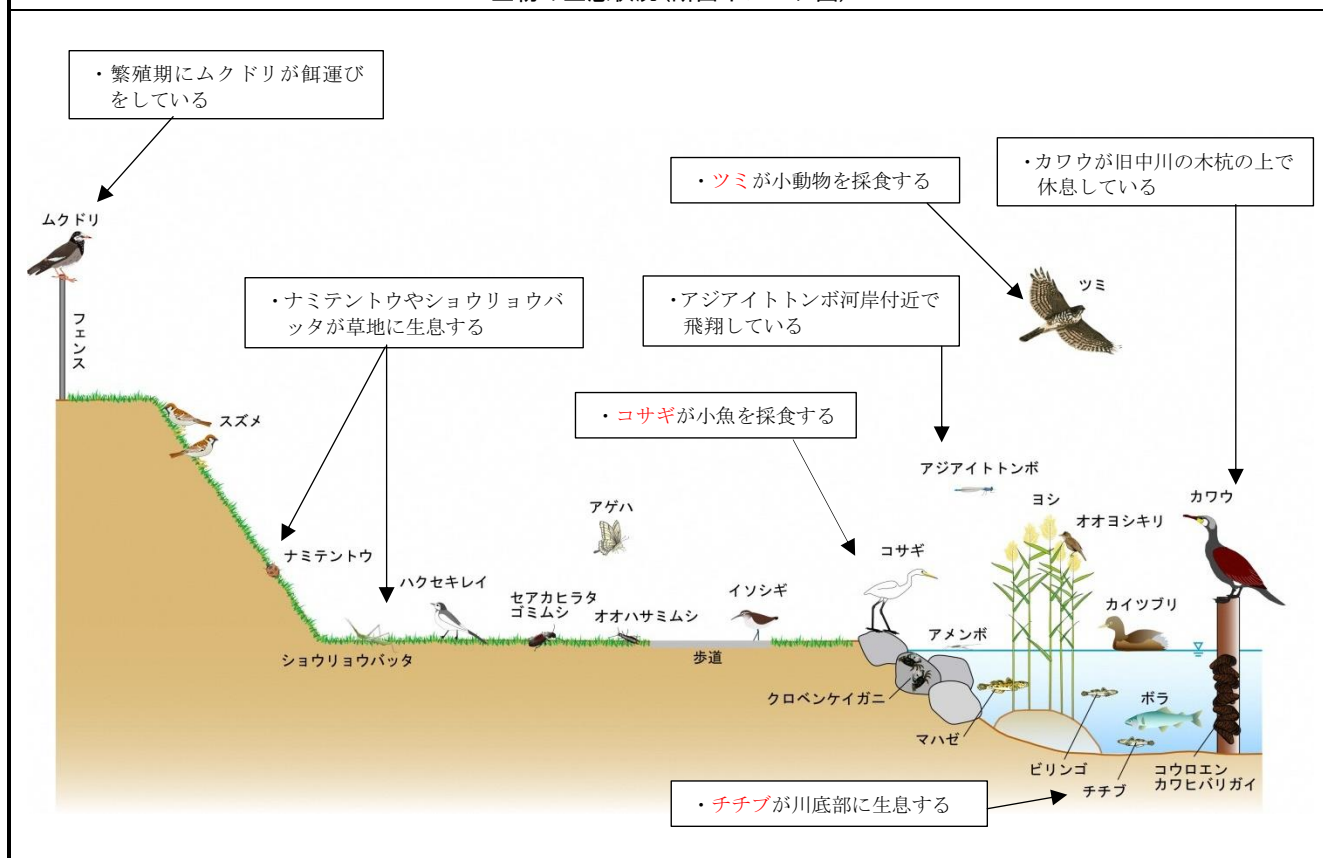


注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

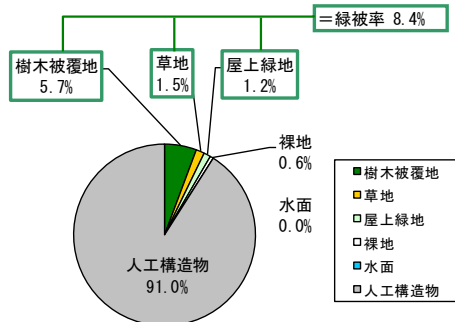
生物の確認状況(主な確認種)					
植物	170種	昆虫類・クモ類	192種	鳥類	31種
【高木層～亜高木層】 ソメイヨシノ、マテバシイ、ト ウネズミモチ、ヤマグワ 【低木層】 アジサイ、オオムラサキ 【草本層】 シバ、チガヤ、ネズミムギ、 セイタカアワダチソウ、 <i>オオキンケイギク</i> 【水生植物】 ヨシ、サンカクイ、 <i>ウラギク</i>	【樹木】 アブラゼミ 【草地】 アゲハ、イチモンジセセリ、 ショウリョウバッタ 【地表】 クロヤマアリ、オオハサミムシ 【水辺】 アジイトトンボ、ヤマトヒメ メダカカッコウムシ	留鳥		夏鳥	冬鳥
		カワウ、スズメ、 ハクセキレイ、 <i>バン</i> 、 <i>ダイサギ</i> 、 <i>コサギ</i> 、 <i>ツミ</i> 、 <i>チョウゲンボウ</i> 、 <i>イソシギ</i>	<i>オオヨシキリ</i>	<i>カイツブリ</i> <i>オオジュリン</i> ユリカモメ ツグミ	
		両生類・爬虫類・哺乳類		3種	
		両生類： <i>アズマヒキガエル</i>			
		爬虫類： <i>ニホンヤモリ</i> 、 <i>ニホンカナヘビ</i>			
		哺乳類：確認なし			
魚類	9種	水生生物	41種		
遊泳魚	底生魚	貝類： <i>ヨシダカワザンショウガイ</i> 、 <i>カワヒバリガイ</i> 、コウロエン カワヒバリガイ、マガキ 環形動物他： <i>アシナガゴカイ</i>	甲殻類： <i>スジエビモドキ</i> 、 <i>クロベンケイガニ</i> 水生昆虫： <i>アメンボ</i> 、 <i>キタフナムシ</i>		
ウグイ、ボラ、 スズキ、 <i>カダヤシ</i>	アベハゼ、ピリンゴ、 マハゼ、 <i>チチブ</i> 、 <i>ヌマチチブ</i>				

生物の生息状況(断面イメージ図)



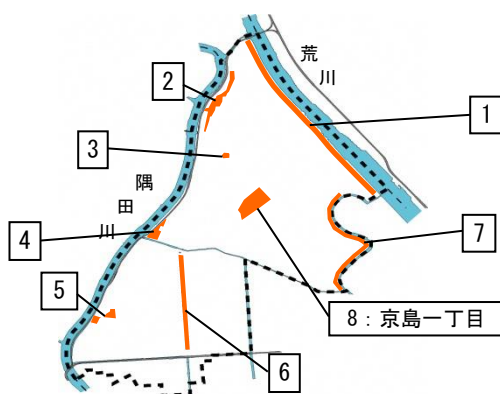
8：京島一丁目

緑被の割合

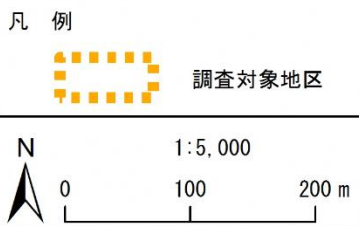


※小数第2位以下を四捨五入しているため、集計値が合わないことがある。

墨田区における位置



空中写真



【特徴】

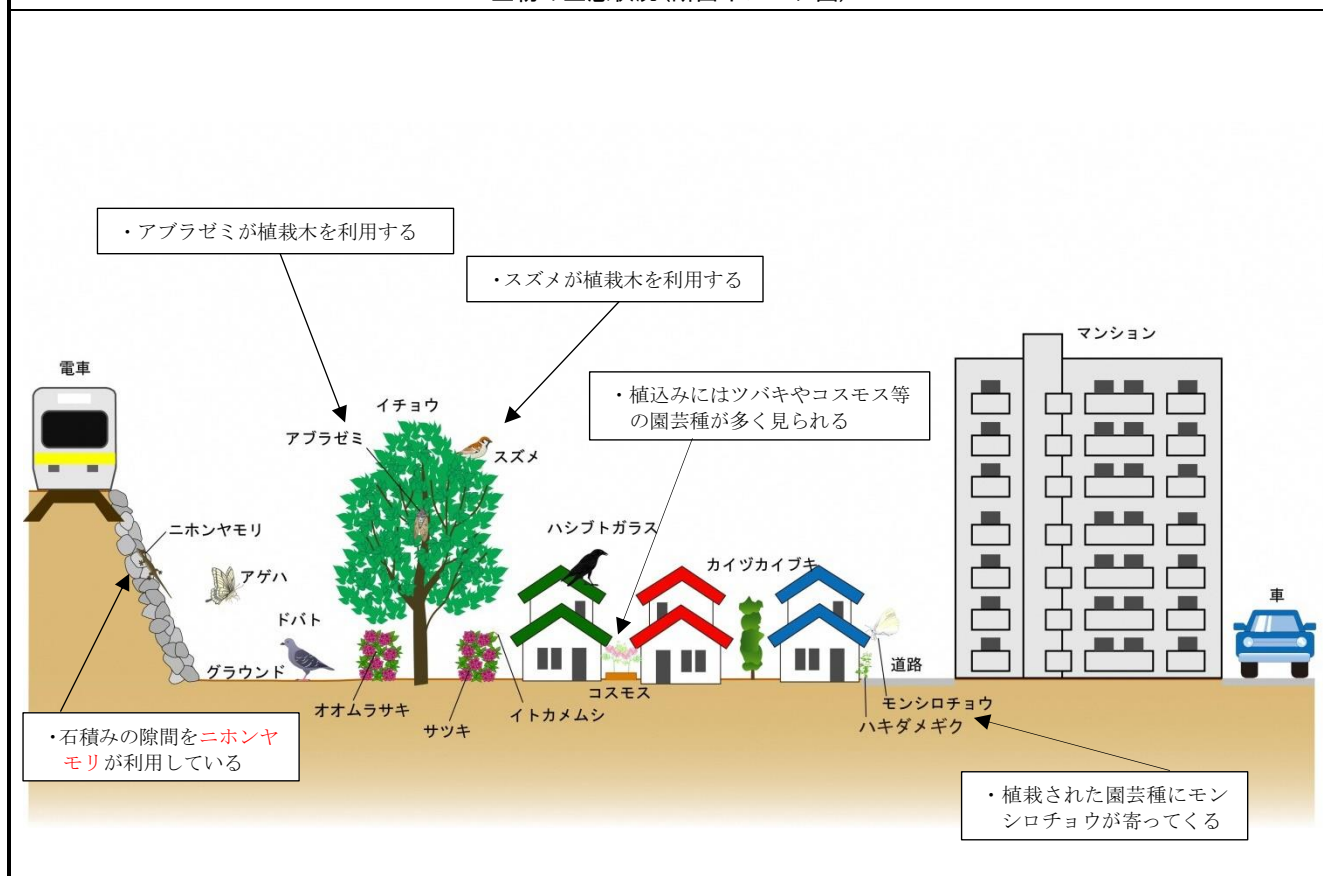
- ・墨田区内の代表的な市街地
- ・住居が大部分を占め、小規模な公園が点在する。
- ・道路や宅地には主に園芸植物が植栽されている。
- ・緑被率は8.4%であり、他の7地区と比較して最も低い。
- ・周辺も住宅地が広がり、緑のつながりはほとんどない。
- ・生物相は、都市環境に適応した種が中心である。

注1) 緑被の割合は、公表値ではなく実測値である。

注2) 赤字は重要種、青字は特定外来生物を示す。

生物の確認状況(主な確認種)				
植物	359 種	昆虫類・クモ類	120 種	
【高木層～亜高木層】 シラカシ、イチョウ、 アメリカヤマボウシ、カイヅカイ イブキ、 【低木層】 ユキヤナギ、ハナズオウ 【草本層】 メヒシバ、オヒシバ、 ハキダメギク、セイタカアワダ チソウ	【樹木】 アブラゼミ、カネタタキ、 ツツジグンバイ、プラタナスグ ンバイ 【草地】 アゲハ、セイヨウミツバチ、モ ンシロチョウ、ウリハムシ 【地表】 アミメアリ、クロヤマアリ	鳥類 7種		
		留鳥	夏鳥	冬鳥
		スズメ シジュウカラ ドバト キジバト ヒヨドリ ハシブトガラス	確認なし	確認なし
		両生類・爬虫類・哺乳類 1種		
		両生類：確認なし 爬虫類：ニホンヤモリ 哺乳類：確認なし		
魚類	種	水生生物	種	
遊泳魚	底生魚			
※生物が生息する水域が存在しないため調査は実施していない				

生物の生息状況(断面イメージ図)



5 用語解説

	用語	説明
あ	アイストップ	まちかど等にある建築物や樹木など、人の視線を引きつける役割を果たす対象物で、単調な景観に変化や魅力を与える。
	インフラ	「産業や生活の基盤」あるいは「社会資本」などを意味する「インフラストラクチャー」の略。
	SNS	(Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。
	オープンスペース	大規模開発などで計画する屋外の空地全般のことで、機能として緑地、公園、ポケットパークなどのこと。
か	キャンパスコモン	文花地区にある千葉大学と情報経営イノベーション専門職大学の間に位置する大学のあるまちづくりのシンボルとなる広場。近接するあずま百樹園と一体的に公園として整備し、研究発表の場となるほか、地域のイベントの開催など地域に開かれた交流の場として活用されることが期待されている。
	橋台地	橋梁のたもとに位置する緑地や広場として整備されている土地。橋梁の架替えの際は、仮橋の設置に必要な用地として活用する。
	公開空地	都市計画制度や建築基準法(昭和25年法律第201号)の総合設計制度に基づき、開発プロジェクトの対象敷地内に設けられた空地のうち、一般に開放され、歩行者が自由に通行または利用できる区域のこと。
	公開空地等のみどりづくり指針	都市開発諸制度等で生まれる公開空地において、みどりのネットワークの形成や快適性、安全性、景観など、その価値を一層向上させるため、東京都が平成19年7月に定めて運用している指針。
さ	CSR	《Corporate Social Responsibility》収益を上げ配当を維持し、法令を遵守するだけでなく、人権に配慮した適正な雇用・労働条件、消費者への適切な対応、環境問題への配慮、地域社会への貢献を行うなど、企業が市民として果たすべき責任をいう。企業の社会的責任。
	視認性	目で見たときの確認のしやすさ。デザインや人間工学の分野において、背景に対し色や形が際立っていたり、文字が大きくてわかりやすかったりする度合い。
	樹冠	樹木の幹の上部にあって枝や葉の茂っている部分をさす。ドイツ語に由来したクローネ(Krone)も用いられる。同じ樹種でも森林を形成しているときと孤立しているときとではその樹冠の形は変化する。
	樹木医	樹木の生理・生態を理解し、調査、設計監理、維持管理業務に精通し、診断及び治療をとおして落枝、倒木などによる人的、物損被害の抑制や後継樹の保護育成ならびに樹木の保護・育成に関する知識の普及及び指導を行う専門家のこと。
	樹林構造(階層構造)	一般的に、植物が生育する高さによって、林床(地表層)、草本層、低木層、亜高木層、高木層(林冠)に区分される、生息地の垂直的な植生による階層の構造のこと。

親水テラス	都市住民が水に親しめるよう、川岸などを整備して作られた遊歩道や緑化地。	
墨田区基本計画	区政の指針となる「墨田区基本構想」に描かれた将来の姿を区民、事業者、区の協働によって実現するための本区における最上位の総合計画。	
墨田区景観基本計画	墨田区基本構想、墨田区基本計画及び墨田区都市計画マスタープランを上位計画とし、景観法、東京都景観計画をふまえた墨田区の景観まちづくりの指針。	
墨田区景観計画	景観法第8条第1項に規定される景観計画。景観まちづくりの指針である墨田区景観基本計画の実行計画として、東京都景観計画をふまえた墨田区独自の景観まちづくり施策を示すもの。	
墨田区公園マスタープラン	都市公園やこれに準ずる施設の新規整備、既存公園の改修、区民参加型の公園管理運営等について具体的に示し、効率的に事業を進め、生活に潤いを感じ、快適な生活を実現するための計画。平成7年（1995年）に、30年計画として策定。平成22年に中間改定をした。	
墨田区住民意識調査	墨田区民の世論を知るため行うもの。第26回の調査は、満18歳以上の区民3,000人を対象に令和2年7月20日(月)から8月5日(水)の期間、郵送により実施。	
墨田区都市計画マスタープラン	「墨田区基本構想」や「墨田区基本計画」、東京都の「都市づくりのグランドデザイン」などを上位計画として、それぞれの計画で示されたまちづくりについての基本的な考え方に即し、目標の達成をめざすための計画。 また、都市計画法における市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画法第18条の2）であり、東京都の定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」に即し、墨田区の将来のあるべき姿やまちづくりの方向性を示すもの。	
た	第二次すみだ環境の共創プラン	墨田区の「環境基本計画」であり、区の環境行政の最上位となる計画。墨田区の最上位の総合計画である「墨田区基本構想」における区の将来の姿の実現に向けて、環境の側面から墨田区が取り組むべき環境政策の基本的方向を定めている。また、プランの策定に当たっては、環境分野における国や東京都の環境基本計画との関連性に配慮するとともに、墨田区の主な関連計画や各種事業計画における施策との整合を図っている。
	地先園芸	公道等との敷地境界に鉢植え等を置いたり、公道に接する側の庭や塀を緑化すること。（地先緑化）
	東京が新たに進めるみどりの取組	都市づくりのグランドデザインで示す都市像の実現に向け、今ある貴重な緑を守り、あらゆる場所に新たな緑を創出するため、都の関係局による検討を経て、東京が進めるみどりの取組をまとめたもの。
	都市開発諸制度	公開空地の確保等の公共的な貢献を行う建築行為に対して、容積率や斜線制限などの建築規制を緩和することにより、市街地環境

		の向上に資する都市開発の誘致を図る制度で、再開発促進区を定める地区計画、特定街区、高度利用区及び総合設計がある。
	都市公園	都市計画区域内に地方公共団体が設置した公園、緑地や墓園及び都市計画区域外に都市計画決定し開園したもの。
	都市づくりのグランドデザイン	平成 28 年 9 月に東京都都市計画審議会から出された答申「2040 年代の東京の都市像その実現に向けた道筋について」を踏まえ、2040 年代の目指すべき東京の都市の姿とその実現に向けた、都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示したもの。「活力とゆとりのある高度成熟都市」を都市づくりの目標とし、目指すべき都市像の実現に向けて、分野横断的な視点から 7 つの戦略、30 の政策方針、80 の取組を示している。
な	内部河川	荒川、隅田川、臨海地区に囲まれた江東三角地帯を流れる旧中川、小名木川、横十間川、北十間川、大横川、仙台堀川、平久川、豎川、大島川西支川、大横川南支川、越中島川のこと。11 河川をあわせて江東内部河川と呼ぶ。
は	ハンギングバスケット	かご状の容器を用いた花の寄せ植え。壁やフェンスにかけて楽しむことができるため、限られたスペースでもガーデニングを楽しむことができる。
	P a r k - P F I	飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度であり、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る新たな整備・管理手法。
	ヒートアイランド現象	熱の島という意味で、都市の気温が周囲よりも高くなる現象。気温の分布図を描くと、高温域が都市を中心に島のような形状に見えることからこのように呼ばれる。
	ビオトープ	生きものを意味する「Bios」と場所を意味する「Topos」を合成した造語。日本語では「生きものの場所」「生きものが暮らす場所」という意味を持つ。ビオトープを人工的につくることで、たくさんの生きものを呼び込むことができる。
	墨堤の桜	隅田公園の隅田川沿いにある総延長約 1km もある桜並木。徳川八代将軍吉宗が享保 2 年（1717 年）に堤防保護と風流を考えて植えたのが始まりとされており、現在も多くの人に親しまれている。
	歩道緑地帯	道路の歩道・車道を区分するために設けた草木を植えた帯状の部分。 令和 2 年 4 月 1 日現在 35 路線（区政概要より）
ま	緑と花の学習園	植物を楽しみたい方をサポートするため、「見て」「学び」「相談」できる施設として昭和 56 年に開園した区立植物園。園内では約 350 種類の植物が植栽されており、見て楽しむことができるだけでなく、緑化講習会・緑に関するイベントや緑化相談を実施し、区民の緑づくりを支援する拠点となっている。

	緑の東京計画	平成 12 年 12 月に策定。東京都全域を対象に、おおむね 50 年後における東京の緑の望ましい将来像を見据えて、平成 13 年度から平成 27 年度までの 15 年間に取り組むべき緑づくりの目標と施策の方向や推進策などを明らかにするもの。
	緑のカーテン	アサガオやゴーヤなどのツル植物でつくった日よけのこと。暑い夏には、日差しをやわらげ、部屋の中に涼しい風を通す、自然のエアコン。また、野菜なら収穫も楽しめるカーテン。
	みどり率	「緑被率」に「河川等の水面が占める割合」と「公園内の緑で覆われていない面積の割合」を加えたもの。
や	ヤゴ救出作戦	小学校のプールに生息するトンボの幼虫（ヤゴ）をプール清掃前に児童が採取し、生きた自然環境学習の素材として活用してもらうことにより、環境体験学習として、子ども達が身近な生きものと触れ合う機会を提供することを目的として実施している事業。
	ユニバーサルデザイン	「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすること。
ら	裸地	草木が一本も生えておらず、岩や土がむきだしになっている土地（地面や場所）のこと。
	緑化重点地区	都市緑地法第 4 条の中で、緑の基本計画の策定項目の中に、「重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区」として規定されている。緑化重点地区は、緑化の方向性や手法などについてのプランを定め、緑化を重点的に推進することにより、緑の基本計画がめざすものをモデル的に具現化し、都市全体への波及を図ることを目的としている。
	緑視率	緑視とは、人の目に映る緑の量のことで、立体的な視野内に占める緑量の割合を緑視率という。これは、人間の緑に対する満足度、意識の把握手段として用いられ、人間の視野の範囲で撮影した写真を用いて、その中に占める樹木等の面積占有率を集計するもの。
	緑被率	緑被地（樹林、草地、屋上緑地）が、その地域全体の面積に占める割合のこと。緑との量を把握する手法として広く用いられている。
	レッドデータブック東京 2013	「東京都の保護上重要な野生生物種」（本土部）～東京レッドリスト～2010 年版の掲載全種を解説した冊子。平成 25 年 5 月に東京都環境局が作成。



ひと、つながる。
墨田区

第二次墨田区緑の基本計画 墨田区生物多様性地域戦略

令和4（2022）年度～令和22（2040）年度

令和4年3月
墨田区

都市整備部環境担当 環境保全課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号
電話 03-5608-6208 F A X 03-5608-1452

この冊子は、すみだふれあいセンター福祉作業所が印刷・製本しました。

毎月**5**日は
「すみだ環境の日」
です。



墨田区環境キャラクター
「地球くん」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS